

## 10月1日(日) 第二礼拝「仮庵の祭り大きな安息」 レビ記 23章 34-36節

仮庵の祭りは、ヘブル語でスコテと言います。農業の収穫と、その収穫物を倉に納める収穫感謝祭です。

第一番目、仮庵の祭りの霊的な意味です。創世記 33:17 ヤコブが父イサクの家に帰る途中、スコテ(小屋という意味)という所に留まり、小屋を作りました。仮庵の祭りでは木の枝で小屋を作って7日間生活し、8日目に自分の家に戻ります。私達はこの地上では旅人であり寄留者です。7日間は父の家に戻る期間(仮住まいの期間)であり、永遠の住まいは父の家なのです。イエス様は弟子をつくり、福音を広め、それを聞いた人々が救われ、神の子となりました。その実(神の子達)を刈り取って天国の倉に納めること、これが仮庵の霊的な意味です。

神様の一日は千日、千年です。神様は6日間働いて7日目は休まれました。アダムからアブラハムまで二千年、アブラハムからイエス様まで二千年、イエス様から現在まで二千年、合わせて約六千年です。6日(六千年)の終わり頃、終わりのラッパと共に、イエス様が再臨され、準備の整った花嫁達は携挙されます。婚礼の後、イエス様は地上再臨し、千年王国(7日目)が始まります。イエス様は王となり地上を治め、キリストの花嫁も共に王となります。

第二番目、千年王国の準備です。ルカ 19章 11-27 ある身分の高い人が10人のしもべに10ミナを与えました。彼らはそれで商売をしました。主人は戻ってきて、1ミナで10ミナ、5ミナを儲けた人達を称賛し、それぞれの働きに応じて町を治めるように言いました。町を治めるとは、黙示録 20:4 千年王国で王となるということです。しかし、主人のことを、計算が細かく、きびしく、恐ろしい方だと認識していた者は、もらった1ミナをふろしきに包んで保管しておきました。主人は「悪いしもべだ。主人の財産を銀行に預けて利息をもらうべきだった。」と怒りました。銀行に預けるとは、私達が礼拝に行くことや、自分はクリスチャンだと信仰告白することです。ヨナは破船しそうな船の中で「私はヘブル人で、海と陸を造られた天の神、主を礼拝しています。」と人々に告白しました。これは伝道であり、種まきです。救われた人の信仰告白や礼拝参加が人々への証(福音の種)となり、それを聞いた人達が救われたという証があります。このように、私達の救いの証を通して、利息をもらうことができるのです。聖霊様に従順していく時、聖霊様が私達を通して10ミナ、5ミナを儲けてくださいます。使徒の働き 2:17-18 聖霊様が私達に与えてくださる御霊の賜物(預言、幻、夢)を通して、多くの人々が救われるようにと願います。

第三番目、大きな安息です。本文 36節、8日目はシェミニ・アツェレと言ひ、大きな安息という意味です。千年王国が終わり、悪魔サタン、反キリスト、偽預言者、そこに従う群れは火の海に投げ込まれます。黙示録 20:11、21:1~以前の天と以前の地(宇宙と地球)はあとかたもなくなり、私達は新しい天と新しい地(永遠の御国)に移され、永遠に主と共に住むのです。しかし、黙示録 21:8「おくびょう者、不信仰の者…」そこに入ることはできない人達もいます。ですから私達はこの大きな安息に入られるよう備えていきましょう。アーメン